

4 優しく働きやすい福祉の実現

結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう社会の実現のため、妊娠・出産に係る経済的負担の軽減や保育人材の確保、周産期・小児医療提供体制の整備等の取組の充実を推進

また、令和6年度当初予算において、結婚、妊娠・出産、子育てのライフステージごとの課題に対応した総合的な対策を「かごしま子ども・子育て支援パッケージ」としてとりまとめ、取組を強化

〔結婚〕

- * 「かごしま出会いサポートセンター」におけるマッチングや成婚に向けた支援
→ 登録会員数865人、成婚数111組
- * 婚活・交流イベントの開催 → 開催実績 100回 (R2~R6.5)

〔妊娠・出産〕

- * 先進医療不妊治療費の助成 → 助成件数 790件 (R5)
- * 未来の妊娠と出産を考えるきっかけづくりとして高校・大学への出前講座等を実施
- * 孤独感や不安を抱えた若年妊婦等が身近に相談できるオンライン相談窓口「かごぷれホットライン」を設置 (R3.9)
- * 島内で分娩できない離島地域の妊婦が、妊婦健診や出産時に要する交通・宿泊費を助成する市町村の取組を支援
- * 低出生体重児等の保護者に寄り添った支援を充実するため「リトルベビーハンドブック」を作成・配布
- * 産後ケア利用者が負担する利用料を無償化する市町村の取組を支援
- * 災害時の妊産婦や新生児等の医療サポートのため「県災害時小児周産期リエゾン」を委嘱



〔子育て支援や保育環境等の充実〕

- * 子ども医療費助成制度の見直し
→ 住民税非課税世帯の高校生までに加え、新たに課税世帯の未就学児を対象に現物給付方式を導入することを決定
- * 地域でニーズの高い新たな子育て施策に取り組む市町村を支援する交付金制度を創設 (R6)
- * 離島地域の子どもが島外の医療機関への通院等に要する交通・宿泊費を助成する市町村の取組を支援
- * 離島生徒が指定大会等で県本土へ遠征する際の費用への支援を拡充
→ 助成割合を2割から4割へ
- * 保育士養成施設の学生に対し修学資金を貸付 → 貸付実績 延べ220人 (R2~R5)
- * 潜在保育士の掘り起こしや県内就職フェアを実施 (R6予定)
- * 保育士確保に取り組む市町村に対し支援を行う交付金制度を創設 (R6)
- * 放課後児童クラブ施設整備への支援 → 補助実績 33施設、1億7百万円 (R2~R5)
- * 重度心身障害者医療費助成制度への対応 (R6.7~自動償還払い方式に変更予定)

- * 医療的ケア児等及びその家族に対する一元的な相談対応や関係機関との調整等を行うため、県医療的ケア児等支援センターを設置（R5.9）
- * 医療的ケア児等を保育所や小中学校等で受け入れるためのセミナーを開催
 - 開催実績 4回，597人参加（R2～R5）
- * 子ども食堂の新規開設経費の助成や運営に関するアドバイザーを派遣
- * かごしま子育て支援パスポートの普及・推進
 - 協賛店舗数：3,026店，デジタルパスポート登録数：28,646枚（R6.5）
- * 男性の育児休業取得に関するセミナーを企業の管理職等を対象に開催（R2～）
- * 仕事と子育ての両立がしやすい職場環境づくり等に取り組む企業を登録・認定
 - かごしま子育て応援企業登録 783社（R6.4時点）
 - かごしま「働き方改革」推進企業認定 43社（R6.4時点）
 - かごしま「働き方改革プラス共働き・共育て」推進企業の認定制度創設（R6.4）

〔いじめや虐待，ひきこもりへの対応〕

- * 北薩地域3市2町及び伊佐市，湧水町を管轄とする北部児童相談所をさつま町に設置（R5.4）
- * 児童家庭支援センターを北薩，南薩の2か所に設置（計3か所）
- * 中央児童相談所一時保護所について子どもが落ち着いて過ごせる環境を整備するため，施設の補修，書籍・玩具の充実等を実施
- * 児童福祉司・児童心理司の増員や警察職員の配置など児童相談所の業務体制強化を実施
- * 子どものこころのケアやいじめ防止対策，不登校児童生徒の支援を推進するため，スクールカウンセラーの年間総派遣回数を増加
 - 小中学校，特別支援学校 R2：約2,800回 → R6：約5,700回
 - 高等学校 R2：約 200回 → R6：約1,300回
- * ヤングケアラーを支援するためのコーディネーターの配置やオンラインサロンの設置・運営を実施
- * かごしま子ども・若者総合相談センター（ひきこもり地域支援センター）での相談対応
 - 相談件数 6,776件（R2～R5）



北部児童相談所開設

〔特別支援教育の推進〕

- * 高等部を有する県立鹿児島南特別支援学校を開校（R5.4）
- * 志布志市の伊崎田学園の敷地内に新たな特別支援学校を設置する方針を決定（R6.2）
- * 特別支援学校の伊佐・湧水地区，始良地区への分置に向けた検討
- * 離島特別支援教育コーディネーターを配置し，特別支援学級担任等の指導に対する助言や，町教育委員会と連携した小中学校等における支援体制づくりを実施



県立鹿児島南特別支援学校開校

[学びのセーフティネットの充実]

- * 令和7年4月の開校を目指し、開陽高等学校の敷地内に本県初の夜間中学「県立いろは中学校」を設置する方針を決定

[地域医療の充実・確保]

- * 県立薩南病院について、新築移転、産婦人科、麻酔科を新設し、小児科を再開 (R5.5)
- * 鹿児島県ドクターヘリ、奄美ドクターヘリの安定的な運航
- * 与論島に沖縄県ドクターヘリの出動要請が可能となるよう同県と協定を締結 (R4.6)
- * 離島急患の搬送を担ってきた海上自衛隊鹿屋航空分遣隊の廃止に対応するため、防衛省本省への要望や自衛隊の関係部隊等との協議を重ね、熊本、宮崎、沖縄、鹿児島の自衛隊等が連携した体制を構築 (R5.1)
- * 医師の総数を確保しつつ、地域的偏在を解消するため、鹿児島大学医学部と連携し養成した地域卒卒の医師について、離島・へき地医療機関等に配置→ 配置人数 延べ177名 (R2~R5)
- * 産科・小児科等の医師の診療科偏在を解消するための修学支援の取組を実施
- * 看護人材不足及び地域的偏在解消のため、修学資金の貸与や看護師等養成所の運営費補助、院内保育所の運営費助成など、看護職員の確保・養成に向けた取組を実施



県立薩南病院の開設

[介護サービスの提供体制の確保・充実]

- * 人材の確保・育成のため、介護福祉士を目指す学生等への修学資金等貸付や、元気高齢者等を対象にしたセミナーを実施
- * 職場環境改善の支援のため、ICT導入に要する経費の助成、見守りセンサー等の介護ロボットの導入費用や通信環境整備に対する支援を実施
- * 介護の必要な患者が入退院により生活環境が変わっても安心して生活できるよう、医療機関とケアマネジャー等で患者の介護情報の共有を図る「入退院支援ルール」を策定し、同ルールの定着を図られるよう、関係者による意見交換会を実施



介護ロボット利用の様子

[買物弱者対策]

- * 日常の買物に不便を感じている方や買物支援サービスを提供している事業者等に情報提供や必要な助言を行うための相談窓口を設置 (R6.4)
- * 新たな買物弱者支援の検討や移動販売等の導入支援を行う市町村に対して費用の一部を助成 (R6~)

5 多様な魅力を持つ離島は、鹿児島県の宝

多様な魅力を持つ離島は鹿児島県の宝であり、2つの世界自然遺産を有する県として、その強みや多様な伝統・文化等の魅力を活かし、交流人口の拡大や産業振興、人と自然が共生する地域づくりを展開

〔奄美世界自然遺産の保全・活用〕

- * 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島の世界自然遺産登録が決定（R3.7）
- * 奄美大島及び徳之島の世界遺産センターの整備について国へ要望した結果、奄美大島については奄美市住用にオープン（R4.7）、徳之島については徳之島町花徳にオープン（R6.12予定）
- * 登録後の観光客の増加を見据え「奄美自然観察の森」をリニューアルオープン（R4.10）
- * 世界自然遺産を守るため、ロードキル対策として侵入防止柵の設置や、森林伐採による環境影響調査等を実施
- * 保護上重要な地域における、認定ガイドの同行や利用車両の台数制限などの利用ルールの運用
- * 世界自然遺産に係る首都圏でのPR、世界自然遺産登録1周年記念シンポジウム等の開催
- * 島唄を観光素材とした誘客を図るため「ほこらしや奄美音楽祭」を開催（R5.2、R6.2）
- * 沖縄県と連携した世界自然遺産の魅力発信等のための共同プロモーション等の実施
- * 2つの世界自然遺産（屋久島・奄美）の周遊促進



世界自然遺産登録記念式典



奄美自然観察の森リニューアルオープン

〔離島交通ネットワークの形成〕

- * 奄美大島における「宮古崎トンネル」の供用開始（R4.3）、「おがみ山トンネル」の工事着手（R6.3）
- * 県道伊関国上西之表港線・国上工区の拡幅工事完了（R5.12）
- * 甑島縦貫道（甑大橋L=1,533m）の開通（R2.8）
- * 屋久島空港滑走路延長（ジェット機就航可能）に向けた取組を推進し、令和6年度新規事業として国から採択【再掲】
- * 西之表港、名瀬港の耐震強化岸壁の整備を推進
- * 天草～長島航路におけるフェリー「ロザリオ・カーム」の建造費を支援（R3、R4）
- * 「フェリーとしま2」火災事故により影響を受けた十島村に対し、人流・物流の確保のための代替船確保に係る調整や代替運航等に伴う追加経費、住民や島内の宿泊事業者等への支援を実施



宮古崎トンネル開通



甑島縦貫道（甑大橋）開通